

2019 西南神学生だより



新年度が始まり、新たな仲間と共に新しい歩みがスタートしました。私たちを学び舎に送り出し、また祈りや様々な支援でもって支えてくださっている全国の教会・伝道所の皆様には、心から感謝申し上げます。今年度の西南学院大学神学部・大学院神学研究科の神学生を紹介します。私たちのことを少しでも身近に感じていただければと思います。

2019年度西南学院大学神学部学生会

～ 新 入 生 ～

大学院博士前期課程1年 興津 吉英（おきつ よしひで）

推薦教会：かたえキリスト教会 研修教会：かたえキリスト教会



1977年、24歳の時に香住丘バプテスト教会で藤井健児牧師によりバプテスマを受けました。以来42年の信仰生活、38年の教員生活を経ての学びです。20年前には九州バプテスト神学校でも学ばせていただきました。何か学んでばかりで、しかも今度はシニアとして神学生の方々の貴重な席を占めるのはまことに恐縮です。研究テーマは「終末論」です。聖書は歴史についてどう語っているか、現代という歴史状況の中で終末の教えをどう理解し、語っていくべきか。教会で語られることが少ない事柄ではないでしょうか。わずかでも宣教に寄与できれば、と背水の陣で学ぶ所存です。

神学部2年 吉田 睿濫（よしだ いえらむ）

推薦教会：博多キリスト教会 研修教会：博多キリスト教会

私は昨年西南学院大学に入り、神学部神学科人文学コースで神様からの召命が確かかどうか一年間祈りました。そして昨年の後期の末に神様からの召命を確信し、今年から神学コース生として将来神様に仕える忠実な牧師になることを目標に一生懸命準備をしています。この西南学院大学にいる間、神学を学ぶ過程で自分の信仰を失わず様々な神学書を通して聖書について学び、神様に新しく準備されているものとなるよう自分を磨いていく、そういった大学生活を過ごします。これからの神様の計画に期待して、すべてをゆだねて牧師の道へと進んでいきます。



選科1年 林 守鎮（いむ すじん）

推薦教会：鳥飼バプテスト教会 研修教会：鳥飼バプテスト教会



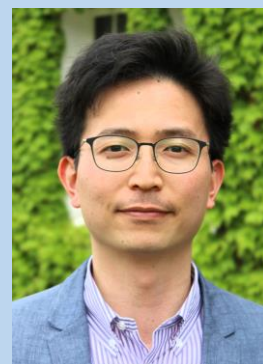
昨年、研修生としての学びを終えて、選科生としての1年が始まりました。研修生の時、何も分からずに、神学という学びに入り、いろんな悩みと思い煩いの中で過ごした一年でした。そこから学んだのは、「協力伝道」ということです。イエスの福音を伝える伝道というのは、一人では出来ないということ、諸教会や教会の一人ひとりのお祈りと、協力のなかでこそ、神が喜ばれる宣教活動が出来ると思います。そのために、神学生として許されたこの時を、全力を尽くしていきたいと思っております。

～ 在 校 生 ～

大学院博士前期課程1年 西本 詩生（にしもと しなる）

推薦教会：恵泉バプテスト教会 研修教会：姪浜バプテスト教会

この二年間を振り返ると、大きな喜びが与えられていることに気づきます。それは、様々な祈りの輪に加えられている喜びです。主と共に歩もうとする中で、湧き上がってくる祈りに心を合わせることや、互いに祈り合う体験をしています。この祈り合いを通して、思わされる御言葉があります。「人が独りでいるのは良くない」。神様が絶対に誰も独りにはしないことが伝わってきます。「あなたは独りではない」と、教会や学校の祈りの輪に加えられることで、響いてくるように思います。この揺るぎない福音を携えて、神様と隣人に仕えていきたいです。



大学院博士前期課程1年 原田 賢（はらだ けん）

推薦教会：大宮バプテスト教会 研修教会：福岡有田バプテスト教会



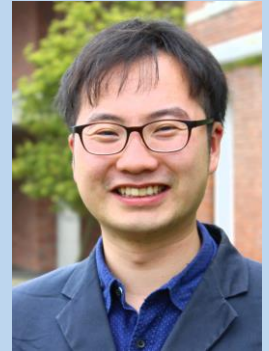
4年目の神学部での生活が始まります。選科から大学院への進学は前例の少ない事例ですが、推薦教会の皆さまをはじめ、多くの方々にご理解とご協力をいただき進学することが出来ました。大学院では、「バプテストにとって教会とは何か」というテーマを、特にバプテストの礼典理解に注目しながら研究をいたします。全国諸教会の皆さまのお祈りとご支援の中、主からいただいたこの貴重な学びの期間を大切に過ごしたいと思っております。

大学院博士前期課程 1年 高橋 周也（たかはし ひろや）

推薦教会：花小金井キリスト教会 研修教会：鳥飼バプテスト教会

新しい一歩を踏み出せずにはいた3年前の嵐の夜、「あの日、5つのパンと2匹の魚を、私がどんな思いで受け取ったと思うのか」と主から問われた。入学から丸2年、ようやく今、ここで仲間たちと草の上に座っています。自分がパンや魚になって裂かれるつもりだったのが、もう全く逆なのです。皆様がいつも私たちのためにご自分を割いてくださる。そして、誰より私の主イエスが。

今度は主からパン屑を拾い集めよと言われました。実はこのパン屑もまたイエス様で、私にとって大切なものなのでしょう。この地に目を凝らして、精一杯に学びます！



神学部 4年 安里 道直（あさと みちなお）

推薦教会：東風平バプテスト教会 研修教会：福間キリスト教会



神学生の醍醐味、それはきりが無いほどあります。その中で私が特に感じることは、「機会に恵まれている」ということです。知る機会、考える機会、語る機会、会う機会、別れる機会、行く機会、体験する機会、実践する機会、変わる機会などです。何か特別な時だけでなく、日常の瞬間瞬間に、「機会」が満ちています。もちろん、私の心体には限界があるので、生かしきれない「機会」もあります。それでも、与えられた「機会」を大切にしていきたいと思います。神様は今年、私にどんな「機会」を与えてくれるのか、楽しみで仕方ありません。

神学部 4年 奥村 献（おくむら ささぐ）

推薦教会：恵泉バプテスト教会 研修教会：福岡バプテスト教会

福岡での生活が2年目に入りました。学びが進むにつれ、神学という学問やキリスト教の奥深さ、聖書のさらなる豊かさが次第に見えてきて、やっとそれらの入り口に立つことができたような心境です。本年度は卒業論文に取り組みます。大きくは今日の日本の教会における宣教の課題について書くことを考えています。全生活での学び、大学での他の学びと並行しながら取り組んでいきます。皆さまのお祈りとお支えを心より感謝いたします。



神学部4年 嶋田 健治（しまだ けんじ）

推薦教会：直方バプテストキリスト教会 研修教会：長住バプテスト教会



主を賛美します。全国諸教会の皆さまの祈りとお支えに感謝致します。新聞やニュースを見ていると、「傾」という言葉が頭に浮かびます。「美しい日本」を求めるがゆえにマイノリティが排除され、忖度があり、歴史の修正が起こっています。また、「令和」という元号に変わるようで日本はお祭り騒ぎです。日本の右傾化を考えざるを得ません。そのような社会でも傾くことのない我らの主イエス・キリストは、どのような平和を求めておられたのか、聖書の「平和を実現する人々(εἰρηνοποιοί)」（マタ 5:9）を卒業論文のテーマとし祈りつつ学びに励んでいきます。

神学部2年 原田 仰（はらだ こう）

推薦教会：平尾バプテスト教会 研修教会：平尾バプテスト教会

神学部での学びが二年目に入りました。昨年は自分の甘さ、弱さ、若さを改めて感じさせられた一年となりました。また多くの祈りとお支えの上に成り立った一年だったとも感じます。本当に感謝申し上げます。

「良い土地に落ちたのは、立派な善い心で御言葉を聞き、よく守り、忍耐して実を結ぶ人たちである。」（ルカ 8:15）とありますように、神様の元に根付き、御言葉に生きたいと思えます。神様から与えられている貴重な時である新しい一年を、神様にゆだね期待して歩みます。



選科2年 千葉 仁志（ちば ひとし）

推薦教会：小倉春ヶ丘バプテスト教会 研修教会：富野バプテスト教会



皆さまの祈りと支援を心から感謝いたします。この春も美しい満開の桜の花を見て、西南学院大学神学部に入學したばかりの気持ちがよみがえりました。喜びと希望と期待と不安とが入り混じった複雑な心境と、なんとも言えない緊張感があったことを昨日のように思い出します。新年度を迎えて、研修教会が小倉春ヶ丘バプテスト教会から富野バプテスト教会に変わりました。今年も大学で、そして教会で新たな学びの機会を与えていただいたことを感謝いたします。また入学時と同じ新鮮な気持ちで学んでいきたいと思えます。

～ 卒業予定者 ～

大学院博士前期課程2年 川久保 拓也（かわくぼ たくや）

推薦教会：ふじみ野バプテスト教会 研修教会：姪浜バプテスト教会

神学校生活もいよいよ最終年次となりました。主の護りと、皆様からの多くのお祈りとお支えによって、これまで歩んでくることができました。心より感謝申し上げます。

これまでの3年間で神学校では多くのことを学ばせていただきました。聖書学、組織神学、歴史神学、実践神学…これら多くの神学を学んでいく中で、ふとこれらの学びは一体何のためにあるのだろうかと考えたことがあります。もちろん牧会者となるために必要な学びではあるでしょう。しかし、突き詰めていくとその根底にある意味は、「神様との関係を正しく保ち続けるため」そして、「神様との正しい関係において、隣人とも正しい関係を保ち続けるため」なのではないだろうかと思ったのです。神学は「教会の反省の学問」と言われます。キリスト教会は歴史の中で多くの過ちを犯してきました。そのとき、教会は神様との正しい関係から逸れて、誤った道を進んでいきました。そしてそのことで、隣人との関係も崩れていきました。この過ちを二度と繰り返さないために、神学の学びはあるのだと思うのです。残り1年を切った神学校生活が、将来の働きにおいて有意義な学びとなるようにお祈りいただければ幸いです。



大学院博士前期課程2年 杉本 拓哉（すぎもと たくや）

推薦教会：宇都宮キリスト教会 研修教会：鳥飼バプテスト教会



主の御名を賛美いたします。諸教会・伝道所のみなさまからの、篤い祈りとお支えを心より感謝申し上げます。主の恵みと憐みにより、最終学年を迎えました。

論文は自死について執筆しています。日本における自死者数はこの40年間、毎年2万人を超えています。2003年の34427人を頂点とし現在は減少傾向にありますが、2018年も20840の方が亡くなられています。私たちは彼ら彼女らの命と無関係ではられません。そのため私は、聖書学、神学者達、ユダヤ教、心理学等の知見を用いつつ、自死という出来事に向き合いたいと思います。聖書の自死に関連する箇所を読むと、彼らの死に方に対して否定的な言葉は使われていないことが分かります。聖書はこのことに関して、良いも悪いも言わずに沈黙しているのです。このことは、私にとって慰めとなりました。

この一年、主の手に委ねて歩む時となりますように。一人ひとりの上に主の守りと導きが豊かにありますように。全ての命の源である主が、全ての命を受け止めて下さいますように。インマヌエルなる主に栄光が在りますように。

神学専攻科 小櫻 信 (こざくら まこと)

推薦教会：日本バプテスト大阪教会 研修教会：バプテスト東福岡教会

主のみ名を賛美いたします。いつもお祈りとお支えをありがとうございます。神学部での学びが許されている事を心から感謝いたします。神学部での学びも4年目となりました。これまでの学び、教会生活やボランティア活動を通して社会的養護が必要な方々との出会いが与えられました。最終学年の論文は、社会的養護が必要な子ども達、特に児童虐待に焦点を当てて取り組んでいます。全国児童相談所における児童虐待相談対応件数は年々増加しており、2017年度には13万件を超え、過去最多となっています。虐待の内容別件数は心理的虐待が54%、身体的虐待が約25%となっており、虐待による死亡人数の65%が0歳児、主たる虐待者は実母が61%でした。家庭環境、経済面など様々な要因が虐待という形で弱者に向けられています。この事に教会はどのような関わりを持つことができるのでしょうか。

最後の一年、良い学びができますように、また招聘においても神様の導きがありますように、祈りながら歩んで行きたいと思えます。これからも私たち神学生へのお祈りとお支えをよろしく願いいたします。



夏期・春期の神学生研修についてのお知らせ

全国の教会・伝道所の皆様、いつも祈り支えていただきありがとうございます。

例年、神学部では休暇期間を利用し、全国諸教会の皆様のもとで研修の機会を持ってまいりました。そこで持たれる皆さまとの交わりや実践は、私たちにとって大切な学びの機会となっております。

しかし、近年神学生の人数が減っていることもあり、せっかく皆さまからお声かけいただいても、お断りをせざるを得ない状況が生まれております。このことは、私たちとしても大変心苦しく思っております。

それでもなお私たちは、皆さまとの交わりの機会を出来る限り持ち続けたいと願い、今年も夏期・春期研修のお知らせを掲載することにいたしました。大変恐縮ながら、お応えできるか分からない中での募集となりますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【学生休暇期間】 夏季休暇 8/13(火)～9/19(木) 応募締切：7/17
春季休暇 2/1(土)～3/31(火) 応募締切：1/8

*休暇中においても集中講義などがあり、神学生のスケジュールの調整ができない場合があります。

【申込み先】 〒814-0015 福岡市早良区室見2-11-26
西南学院大学神学部寮気付 対外委員会 担当：安里 道直
E-Mail：swtaigai@yahoo.co.jp

【連絡事項】 ①教会名 ②担当者名 ③希望日程 ④希望人数 ⑤研修内容
⑥交通費等の支援 ⑦連絡先(電話、メールアドレスなど)

～ 神学生の年間スケジュール ～

- 4月 始業礼拝
- 6月 神学校週間
- 7月 レポート、前期試験
- 8月 集中講義、夏季休暇
- 9月 夏季休暇、後期授業開始
- 11月 連盟総会
- 12月 クリスマス
- 1月 論文締切、後期試験
- 2月 春季休暇
- 3月 卒業礼拝

2019 西南神学生だより

発行日 2019年5月20日
発行者 西南学院大学神学部学生会
編集 神学部学生会対外委員会
原田 賢 小櫻 信
安里 道直 嶋田 健治
(学年順)
E-Mail swtaigai@yahoo.co.jp